

環境経営の
取組み認証

人気高まるエコアクション21

6000社超まで拡大

中小企業こそ
取得メリット

環境経営への取り組みを認証する「エコアクション21(EA21)」を取得する連携事業者が増えてきている。2月末現在、運輸・倉庫業では全国で113社が同認証を取得し、活動に取り組んでいる。



8割で、30環境面だけでなく経営り組んでもらえば」と人以下が面でも効果が上がる仕事。中小組みとなっている。同認証の取得事業者企業に「具体的な取り組みで取り組んで、まず自社のエネルギー使用量やゴミの排出量などの環境負荷を監視し、削減の取り組みのなかに2人の会社員が把握し、その削減の目標に向かって取り組み、結果を評価し、次の改善につなげる」と付き散水器を活用し節水の取組を推進し、買い物のレシートにまとめる。行を奨励し、買い物のレシートに「他の認証と同様に記す」という3要素で成り立つており、企業は「規格に縛られ、企業は「取得事業者のうち、1000人イドラインに付いて活る」となく、自社の強みと弱みを理解し、取

に基づき制度。認証取得企業は全産業で毎年あらゆる組織で取得1000社ずつ増えてくる」という。同ガイドラインは、環境経営システム(Eレポ)にまとめる。行を奨励し、買い物のレシートに「他の認証と同様に記す」という3要素で成り立つており、企業は「規格に縛られ、企業は「取得事業者のうち、1000人イドラインに付いて活る」となく、自社の強みと弱みを理解し、取



エコアクション21

「簡易版」と評されるという。また、税の減額費別、認証・登録料も10万円とISOと「決してお手軽版ではや低利融資を行っていない」と断言。「確かめる金融機関もあり、経費ISOに比べて取り扱面でのメリットも見が認定した全国に850人いる審査人が実施する。主に企業の手続きを減らすこと。」「審査を受ける企業と同じ業種の経験者が担当すること。」「審査の勘定経営では取り組が多い」という。審査の申し込みは、47都道府県すべてにある地場事務局が受け付けている。

森下氏は、「認証取得に取り組むことは、コンプライアンスの順守につながり、リスク管理にもなる。活動を促進して、企業価値を高めてほしい」と語る。HPは、<http://www.ea21.jp/> 審査費用は10万円(交)

(大西友洋)